

(14) 研究戦略企画室**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 設置の趣旨（目的）**

研究戦略企画室は、本学における特色ある研究を推進するため、競争的資金の獲得に戦略的に取り組み、研究水準の向上を図ることを目的として、平成31年4月1日に設置された。

イ 組織の構成及び構成員等

組織は、室長（研究担当副学長）、共同研究経費、受託研究経費その他の外部経費受入教員教授3名、准教授2名、学長が指名した教授2名、経営企画課長及び研究連携課長で構成され、事務は研究連携課が担当している。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

令和3年度においては、開催していない。

イ 審議された主な内容

なし

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取り組み状況

本学の特色ある研究を推進するための競争的資金の戦略的な獲得に向け、本年度は特に次のことに重点的に取り組んだ。

1. 学内への有用な研究公募情報の提供

新潟大学研究支援トータルパッケージ事業（RETOP）の研究関連情報等を活用した本学教員に向けた有用な研究公募情報の提供を行った。また、日本学術振興会が公募した「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」を学内へ周知した。

2. 外部機関からの研究資金獲得（科学研究費助成事業、共同研究・受託研究・受託事業）に向けた取組

文部科学省の委託事業2件に応募し、「ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実（文部科学省著作教科書のデジタル化に求められる機能の研究）」の1件が採択された。

また、独立行政法人教職員支援機構の委託事業「NITS・教職大学院コラボ研修プログラム支援事業」に4件応募し、4件採択された。

大学のホームページに公開している本学教員の研究シーズ集について、教員に対して、新たな研究シーズの登録を促し、研究シーズ集を整備した。

次年度からの第4期中期目標期間における外部資金の獲得増加に向けた取組案を作成した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

昨年度に引き続き、新潟大学研究支援トータルパッケージ事業（RETOP）と契約した。本サービスを利用して、科学研究費助成事業を中心とした外部資金に関する動画や資料を学内で広く周知を行った。